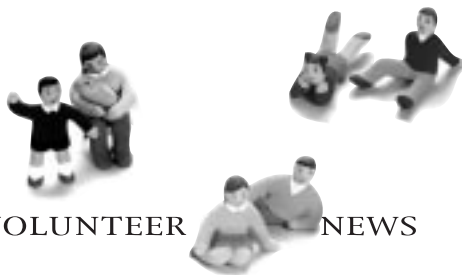


市民活動・ボランティア ニュース



2008年

8

月号

平成20年7月25日発行
通巻116号

MIE NON-PROFIT ORGANIZATION & VOLUNTEER NEWS

◆発行◆

514-0009

津市羽所町700番地

アスト津3階

みえ市民活動ボランティアセンター

Tel.059-222-5981

Fax.059-222-5971

E-mail seiknpo@pref.mie.jp

男女共同参画・NPO室の

ホームページ

<http://www1.mienpo.net/npot>

三重県のホームページ

<http://www.pref.mie.jp>

市民活動・ボランティアニュースは
こちらにあります！

【地域の市民活動センター等】

●津市●みえ市民活動ボランティア

センター／津市市民活動センター／

分部食堂／(有)デザインオフィス萩

野 ●桑名市●桑名市市民活動支

援センター ●四日市市●四日市

市市民活動センター／寺子屋プロ

ジェクト／みえチャレンジプラザ

●亀山市●亀山市市民協働セン

ター ●鈴鹿市●市民ネットワーク

すずかのぶどう ●松阪市●三重中

京大学／松阪市市民活動センター

●伊勢市●特定非営利活動法人

伊勢志摩NPOネットワークの会／い

せ市民活動センター ●鳥羽市●

鳥羽NPOネットワークセンター／結

●名張市●名張市立図書館／名

張青年会議所／皇学館大学名張

キャンパス／名張市総合福祉セン

ター／エコリポート赤目の森／名張

市市民活動支援センター／くらしの

情報センター同夢 ●伊賀市●ウィ

リアム・テルス アップル まちづくり

センター／伊賀市中央公民館／伊

賀市立図書館／上野青年会議所／

伊賀市市民活動支援センター ●

明和町●めいわ市民活動サポートセ

ンター ●南伊勢町●南伊勢町町

民文化会館 ●紀宝町●紀宝町ボ

ランティア市民活動センター

【地域の社会福祉協議会】県内の市

町村社会福祉協議会

【金融機関・企業等】百五銀行各店

／三井銀行各店／東海労働金庫各

店／第三銀行各店／メディカル光

各調剤薬局

【行政機関等】三重県庁県民ホール

／三重県地域機関(各県民セン

ター)(桑名、四日市、鈴鹿、津、久居、

松阪、南勢志摩、伊賀、尾鷲、熊野)／

三重県栄町庁舎(情報公開窓口)／

三重県総合医療センター／三重県立

一志病院／三重県立志摩病院／三

重県立こころの医療センター／斎宮

歴史博物館／三重県立博物館／三

重県立図書館／三重県生涯学習セ

ンター／三重県男女共同参画セン

ター『フレンテみえ』／三重県人権

センター／三重県身体障害者総合福

祉センター／三重県環境学習情報セ

ンター／各市町役場

盲導犬の入店・宿泊拒否を解消し、県内の観光事業および三重県のイメージアップをはかる、行政および関連業者団体との協働事業

全国一のUDの観光地を目指して「市民活動団体と行政との協働事業」

「盲導犬が賢いことは知ってますよ。でも犬は犬ですからねえ」
「ここは食事処ですよ。しかも座敷なんですからね」

身体障害者補助犬法が成立してから6年。翌年にはNPO法人三重補助犬普及協会をたちあげた。

行政と協力しながらリーフレットの配布、5回の講演会の開催、学校・団体を通じての啓発、ささやかなNPOグループとして、できる限りの行動をしてきた。

しかし残念なことに宿泊拒否、入店拒否が相次いだ。

「行きたい時に、行きたい所に行ける」。このごくささやかで、当たり前の人としての自由を得る手段であり、身体障害者の自立と社会参加をサポートする盲導犬。

だがこの愛らしいパートナーがバリアになっている実態がそこにあった。

「いや、うちはいつでもOKですよ」と、フォーラムのパネリストまでしてくださるホテルもあり、少しずつバリアは減っていったが、まだ「まだら」状態である。

盲導犬一頭の入店を拒否することは、その使用者一人の拒否にとどまらない。その家族、グループ、団体…その風間はネットを通じて全国に広がってゆく。

理解してくださる人たちは確実に増えつつけているが、この流れをもっと大きく、決定的なものにしなければ。

それには具体的に盲導犬の実態を直接見ていただくこと。それしかない。

そう思い、活動を続けてきたが、あまりにも自分たちは非力であった。

そんな時、NPO法人三重補助犬普及協会が提案した「盲導犬の入店・宿泊拒否を解消し、県内の観光事業および三重県のイメージアップをはかる、行政および関連業者団体との協働事業」が県の「NPOからの協働事業提案」に採択された。

そして今、伊勢志摩を愛しUD(ユニバーサルデザイン)に理解ある団体と個人が集まりつつある。

生まれ育った町と海で家業にいそしむおかみさんたち。おおらかな海の男たち。観光業や農業で、それぞれの立場は異なるが、出会いをつくり新しいことを始めようとしている。

UDに取り組む市民グループをはじめ、市民活動の如何を問わずご協力ご参加をお待ちしています。

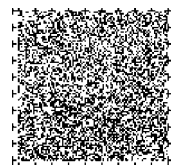
●問い合わせ先／NPO法人三重補助犬普及協会(担当:多賀)
Tel.090-3114-2511



多賀さんと盲導犬のクロス。

SPコード

右にある図形は「SPコード」と呼ばれる二次元コードです。視覚に障害を持つ方が「スピーチオ」と呼ばれる専用の読取機を使用することで、ここに記録されている情報を音声で聞くことができます。



情報をお寄せください。市民がつくる市民活動の情報です。
ホームページ版、朗読テープ版もあります。お気軽にお問い合わせください。



三重県社会福祉協議会では9月から今年度の「シニアセミナー」(県委託事業)を開催します。セミナーのテーマは『地域のネットワーク(絆)づくり』です。受講対象は県内在住のおおむね60歳以上の方々、会場は四日市、津の2ヶ所としています。

あれ、どこかで聞いたことが…とか、またか…と思われる方も多いかもしれませんね。確かにそのとおりで、「地域」で「シニア」の皆さんの力を活用していく取り組みは本当に様々なところで行われています。だからこそ、社会福祉協議会が開催するからこそできる絆づくりを目指しています。

こうして様々な特色をもった絆がゆるやかにつながれるといいのでしょうか。その中で絡まってしまうことも、もちろんあるでしょう。その時には、私のような職員を大いに使ってほしいですし、その前に、絡まりをほどくことがとても上手な人の本領発揮の場となるのかもしれません。

こうした絆の一員になってみていいかなという方はこのニュースの「募集」の欄をご覧ください。さらに詳しいことをという方は三重県会福祉協議会内「シニアセミナー係」TEL:059-227-5145までご連絡ください。

みなさんへのお知らせ

特定非営利活動法人認証申請団体と成立団体のお知らせ

●認証申請団体

(1)名称(2)代表者氏名(3)法人事務所の所在地
【1】(1) Genuine (2) 清水恵子 (3) 桑名市本町49番地 / 【2】(1) 総合スポーツクラブいなべ市体育協会 (2) 永井澄美 (3) いなべ市員弁町楚原936番地 / 【3】(1) 水の郷 (2) 辻 康哲 (3) 四日市市水沢町1952番地 / 【4】(1) みのり福祉会 (2) 伊藤伸一 (3) 桑名市大字福江43番地 / 【5】(1) トータルサポートスクラム (2) 鈴木 創 (3) いなべ市北勢町大辻新田831番地
(平成20年6月10日～平成20年7月9日申請分)

●成立した特定非営利活動法人(登記年月日)

M・K・Yグループ(平成20年5月20日) / Peace Workers(平成20年5月27日) / 四日市大学自然環境教育研究会(平成20年6月4日) / マイサンクチュアリ(平成20年6月10日) / 霞ヶ浦スポーツクラブ(平成20年6月12日) / クレインボクシングジム(平成20年6月30日)
(平成20年6月10日～平成20年7月9日届出分)

※関係書類は、三重県生活・文化部男女共同参画・NPO室に備え置いてあります。

E-mail smile_dropin@yahoo.co.jp

ホームページ http://www.geocities.jp/smile_dropin

ピア・カウンセラー養成講座

●とき／8月3日(日)～9月14日(日)の、土曜または日曜に計6回開催。時間はすべて13:00～17:00

※9月14日は公開講座で、どなたでも参加できます。

●ところ／アスト津(津駅東口)4階、5階。

●内容／地域で暮らす障害者を同じ障害者の立場から、相談に応じるピアカウンセラーを養成する講座です。講師は、障害当事者であり、ピアカウンセラーでもある、豊田市「自立生活センターユートピア若宮の会」の木本光宣さん、岡崎市「NPO法人岡崎自立生活センターぴあはうす」の大尾嘉和也さん。受講対象者は身体障害当事者15名程度。

●応募締切／7月31日(木)

●主催・問い合わせ先／NPO法人ピア・サポートみえ

Tel.&Fax.059-213-9577

E-mail peershinji@yahoo.co.jp

イベントスケジュール



【子育て広場：ドロップin】

自己尊重トレーニング

●とき／8月1日(金) 10:00～12:00ごろ

●ところ／富田地区市民センター 和室

●参加費／一般500円、会員200円

(託児子ども一人200円)

●内容／自分のためなところはたくさん思いつくのいいところは…と思っているあなた!このトレーニングを始めてみませんか?

おしゃべりサロン

●とき／8月25日(月) 10:00～12:00

●ところ／子育て広場：ドロップin 事務所

●参加費／一般300円、会員100円(コーヒー・ケーキ付)、ランチ400円 ●募集人数／先着10組

●内容／親子で楽しい取り組み!それからお母さんだけ2階でおしゃべり。子ども達はボランティアの託児スタッフが預かります。

かるがもくらぶ

●とき／8月8日・22日・29日

(すべて金曜) 10:30～12:00

●参加費／一般300円、会員無料

●ところ／子育て広場：ドロップin 事務所

●内容／先輩ママと交流し、子どもと一緒に遊びます。

●問い合わせ先／四日市市富田1丁目8-11 子育て広場：ドロップin Tel.&Fax.059-363-3728



東海ろうきんNPOインターンシップ制度「地域デビュー」活動プログラム

NPO基礎理解セミナー

●とき／8月3日(日) 13:30～16:50

●ところ／四日市商工会議所 ●参加費／無料

●内容／定年退職後、「地域に戻って社会貢献活動」と言うけれど、これまで企業人だった方には、そう簡単には思えないのが実際です。地域デビューとは、何なのか。地域社会で今何が起きているのか(現状と課題)、そして一体NPOや市民活動とは何かを理解し、地域デビューに向けて、基礎知識と心得を備えます。

●申込方法／電話、Fax、E-mail。

●申込・問い合わせ先／特定非営利活動法人市民フォーラム21・NPOセンター(担当:以後崎・西山)

Tel.052-919-0200 Fax.052-929-0220

E-mail igosaki@sf21npo.gr.jp

【三重県難病相談支援センター】

地域難病相談会(四日市会場)

●とき／8月3日(日) 受付13:00～ 13:30～15:00

●ところ／四日市市立労働福祉会館(四日市市日永東1丁目2番25号 中央緑地内) ●参加費／無料・予約不要

●内容／講師を招いての講演会や各種相談のほか、各難病の相談員が療養生活や生活相談をお受けします。一人だけ、家族だけで悩まないで、この機会をご利用ください。

●問い合わせ先／三重県難病相談支援センター

Tel.059-223-5035

特別医療講演会『パーキンソン病治療の進め方』

- とき／9月21日(日) 13:30～16:30
- ところ／三重県津庁舎6階大会議室(津市桜橋3丁目446-34) ●募集人数／先着250人
- 参加費／全国パーキンソン病友の会三重支部会員・家族は無料、会員以外は300円
- 内容／講師は順天堂大学医学部付属順天堂越谷病院院長の水野美邦先生です。
- 問い合わせ先／パーキンソンみえ(担当:梶田恒久)
Tel.&Fax.059-262-3481
三重県難病相談支援センター Tel.059-223-5035
Fax.059-223-5064

医療講演会『不整脈の診断と治療』

- とき／9月28日(日) 13:30～15:30
- ところ／三重県津庁舎6階61会議室 ●参加費／無料
- 内容／三重大学大学院医学系研究科循環器内科学講師、藤井英太郎先生
- 問い合わせ先／三重心臓を守る会(担当:油島)
Tel.059-229-2506



【アストdeサロン】

「ジュゴンと沖縄の海は今」

- とき／8月16日(土) 10:30～12:00
- 参加費／1人100円(小・中学生にプレゼントあり)
- 内容／人魚伝説のモデルになったとも言われるジュゴンが、この日本の沖縄でも生きていることを知っていますか？三重のジュゴン好きNO.1の野田啓子さん(ジュゴンパライズ三重)のお話を聴いて、ジュゴンと、ジュゴンが暮らす海の環境のことを知りましょう。自由研究歓迎。対象は小学3年生以上。小学生は保護者同伴でご参加ください。



夏休み子ども環境体験学習

「買い物ゲーム&エコバッグに絵を描こう!」

- とき／8月24日(日) 13:30～15:30
- 参加費／1人100円(材料費など)
- 内容／買い物ゲームなどをして、ゴミが少なくなる社会について親子で楽しく学びましょう。また、エコバッグに好きな絵を描いてマイバッグとしてお持ち帰りいただけます。対象は小学3年生～6年生。保護者同伴でご参加を。
- 募集人数／先着20人程度(保護者含む)

- ところ(両企画共)／みえ県民交流センター(アスト津3階 交流スペース)
- 問い合わせ先／みえ市民活動ボランティアセンター
Tel.059-222-5995 Fax.059-222-5971
E-mail center@mienpo.net
ホームページ <http://www.mienpo.net/center/>



夏の鈴鹿川体験

- とき／8月17日(日) 10:00～15:00
- ところ／鈴鹿川河川緑地
- 内容／川の中で魚とり体験など、鈴鹿川に関心を深めていただく楽しいイベントです。「鈴鹿川歩き体験」は要事前申込。なお、当日イベントをお手伝いいただけるボランティアも随時募集しています。
- 募集人数／150人程度(抽選のうえ、決定)
- 応募締切／7月31日(木)
- 申込方法／ハガキ、Fax、E-mail。「鈴鹿川歩き体験」希望者は参加代表者の住所、氏名、年齢、電話番号、参加者全員の氏名と年齢、鈴鹿川歩き体験参加希望時間(10時、



- 11時、13時、14時)を記入し、下記まで。
- 申込・問い合わせ先／510-0241 鈴鹿市白子駅前18-15 NPO法人市民ネットワーク すずかのぶどう「夏の鈴鹿川体験実行委員会 鈴鹿川歩き体験係」
Tel.&Fax.059-387-0767
E-mail budou@mecha.ne.jp

第21回「自閉症の理解を求めて」講演会

- とき／8月21日(木) 13:00～15:35 ●参加費／無料
- ところ／三重県総合文化センターフレンテみえ
- 内容／テーマは「特別な支援のあり方」小児科医であり、文教大学教育学部准教授である成田奈緒子さんにお話を伺います。
- 募集人数／380人(定員なり次第締切)
- 主催・問い合わせ先／三重県自閉症協会(事務局:横山美香) Tel.090-8733-0609 Fax.059-234-9477

防災啓発ゲーム(クロスロード)指導者研修会

- とき／8月29日(金) 13:30～16:30
- ところ／ゆめぼりすセンター2階大会議室
- 参加費／無料 ●募集人数／80人
- 内容／阪神・淡路大震災での神戸市職員の実体験をベースに災害時の対応をシミュレートするカードゲーム教材「クロスロード」を使って、ワークショップをやってみませんか？講師は神戸市役所クロスロード研究会の西 修さん。
- 申込方法／ハガキ、Fax、E-mailにて、住所、氏名等を書き記す。定員になり次第締切。
- 問い合わせ先／518-0869 伊賀市上野中町2976-1 伊賀市社会福祉協議会 Tel.0595-21-5866
Fax.0595-26-0002
E-mail ue-vac@hanzou.or.jp
518-0718 名張市丸之内79 名張市社会福祉協議会
Tel.0595-63-1111 Fax.0595-64-3349
E-mail n.furevc@nava21.ne.jp



三重県内で活動している、学生など若者たちのボランティア・市民活動団体をご紹介します。

三重大学ねこサークル

三重大学生によるサークルです。三重大学構内に住んでいる20匹程の猫の世話が、活動の中心です。大学が休みの日でも世話は必要なので休日や夏休み等も担当メンバーが、交代でエサやりや糞の始末をしています。

また、不幸な猫が増えないように、メンバーから集めた会費やフリーマーケット等でつくった資金を元に、不妊・去勢手術を受けさせています。幸い、活動を理解し協力していただける動物病院もあり、いろんな面で力を貸していただけるのでたいへん助かっています。

早稲田大学にも同様な活動をしているサークルがあるので、メールなどで情報交換やアドバイスを受けています。

今後できれば、さらに活動を活発化し、活動範囲を三重大学の外にも広げていければと思っています。

連絡先	mieuni_neko@yahoo.co.jp (サークル専用)		
メンバー数	30人	活動地域	三重大学構内

きこえのバリアフリーサポート事業

●とき・ところ／全日程13:00～16:00

【伊賀会場】8月30日(土) A・9月14日(日) B・9月27日(土) C 上野ふれあいプラザ(伊賀市上野中町2976-1)

【松阪会場】10月5日(日) A・10月19日(日) B・11月9日(土) C 市民活動センター(松阪市日野町788)

●内容／「きこえ」について役立つ知識と悩みや関心のあ
る方々が出会える場の提供を行います。プログラムはA
「体験談と会話のコツ」、B「補聴器講演会」、C「便利な道
具や制度の話」の3つです。

●主催・問い合わせ先／三重パソコン要約筆記サークル
ことのは Tel.&Fax.059-356-0803(横山方)

E-mail mie_pcy@yahoo.co.jp

ホームページ <http://mie-pcy.hp.infoseek.co.jp/>

昭和の縁日～魚まちで昔の遊びしようや～

●とき／9月6日(土) 15:00～19:30

●ところ／紀北町・紀伊長島区(長楽寺参道・多目
の会館)

●内容／かつて盆や正月に寺の参道
や商店街で行なわれていた縁日や夜
店を再現します。当時を知る人には
懐かし、今の子どもには新鮮な空間
になるのでは…。

●主催・問い合わせ先／昭和の縁日

実行委員会・紀北町産業振興課 Tel.0597-32-3905

第2回 障害者カラオケのど自慢大会

●とき／9月28日(日) 10:00～15:00

●ところ／四日市都ホテル

●参加費／1500円(障がい者・介護者共。ランチ付)

●内容／障がいの種別に関係なく、カラオケを「スポットラ
イト」の当たるステージで、思う存分、歌いましょう。そして、
たくさんの仲間と交流して楽しく一日を過ごしましょう。

●応募締切／8月31日(日)

●主催・問い合わせ先／NPO法人障害者支援グループ・ピ
ラミッド Tel.&Fax.059-365-1682

Tel.(携帯)090-1860-7937

ネットワークのよびかけ

中間支援組織担当者ネットワーク交流会

～顔の見えるつながりを作りませんか？～

中間支援、NPO支援に関わる人が集まり、共通の悩みや疑
問を出し合って、意見交換する場です。隔月で協働をテ
マに勉強会も開催。いずれも無料、会場はみえ県民交流セ
ンター交流スペースです。

【協働勉強会】●とき／8月5日(火) 13:30～16:30

【交流会】●とき／9月11日(木) 13:30～16:30

●問い合わせ先／W.T.Aまちづくりセンター

Tel.0595-24-7612

シニアセミナー受講者募集

地域では豊富な知識や経験を持つシニア世代の皆さんの
力を必要としています。このセミナーは「地域のネットワ
ーク(絆)づくり」をテーマに、皆さんが地域で活動を始める
きっかけ作りとその支援を目的としています。対象は県内
在住のおおむね60歳以上の方。講座内容は、基礎的な知
識の習得と体験学習。実際の活動を経験する現場実習を

行ったあと、振り返りとまとめを行います。

●とき／9月～12月(週1回・延16回) 基本時間13:00
～16:00 講座によって変更あり。

●ところ／【津】三重県総合文化センター

【四日市】四日市市立労働福祉会館

●参加費／3000円(交通費、一部教材費等は別途負担)

●募集人数／各会場45人

●応募締切／8月22日(金) 応募者多数の場合、抽選。

●申込方法／申込用紙をFax、郵送、E-mailで下記まで。

●申込・問い合わせ先／514-8552 津市桜橋2丁目

131 社会福祉法人 三重県社会福祉協議会 総務企画

部「シニアセミナー」係 Tel.059-227-5145

Fax.059-227-6618

E-mail kikaku@miewel.or.jp

ホームページ <http://www.miewel.or.jp/>

新しいカタチ・実験事業2～実体験のあと応援費を得る～

「まちづくり事業」体験プログラム

ミーティング、企画会議、実作業などに関わること
で、現場からノウハウを得ていただきます。なお、このプロ
グラムを終了後、まちづくり活動を実施する方に対して「活
動応援費」として10万円を提供し、NPO活動家が増える
ことを応援します。提供人数は最大2名まで。

●応募締切／8月5日(火) 必着

●体験期間／基本は決定後から半年間。時間は自由設定。

●体験場所／松阪市市民活動センター

●対象／経験、年齢など問いません。やる気のある方に限
ります。〔A〕学生コース(18歳以上の学生)〔B〕一般コ
ース(社会人、主婦など)

●申込方法／E-mailにて。件名を「まちづくり体験プロ
グラム参加希望」とし、名前・住所・年齢・電話番号を送信。後
日、面接の日程調整の連絡を差し上げます。

●問い合わせ先／NPO法人Mブリッジ(担当:米山)

Tel.0598-26-0108 E-mail info@m-bridge.jp

一行詩「いのち」～現在・過去・未来へ～募集

たったひとつしかない大切ないのち。そんなこ
とを考えたことはありますか? 「いのち」に対す
るあなたの想いをお寄せください。一行詩とは、短い詩の
こと。40文字以内で表現してください。入賞作品は、犯罪
被害に係る広報啓発活動等でパネル展示させていただく
など、支援センターに属することとします。応募は一人1作
品、自作で未発表のものに限ります。

●応募締切／8月18日(月) 消印有効

●応募資格／津市内在住、在学(小学生以上)、在勤の方。
部門は小学生低学年の部、小学生高学年の部、中学生の
部、一般(高校生含む)の部となっています。

●表彰／金賞・銀賞各部1人、銅賞各部3人

●申込方法／郵送、Fax、ホームページから応募。

●問い合わせ先／514-0004 津市栄町1丁目891番
地 三重県合同ビル2階 (社)みえ犯罪被害者総合支援
センター Tel.059-213-8211 Fax.059-227-
4755 ホームページ <http://www18.ocn.ne.jp/~mie-hhsc/>

世代間交流事業 学生ボランティア大募集!

世代間交流事業実行委員会とは、中学生から80
歳代の高齢者までの方々が組織し、イベントなど
を企画実施している委員会です。今回、第1回世代間交
流事業を行うにあたり、実行委員と共に活動してくれるボラ
ンティアを募集します。実行委員も随時募集しています。

【打ち合わせ・準備】

- とき／8月23日(土) 13:00～16:00
- ところ／名張市総合福祉センターふれあい
- 【第1回世代間交流事業「鮎のつかみ取り&竹の水鉄砲づくり!」
- とき／8月24日(日) 8:00～15:00(雨天31日順延)
- ところ／赤目四十八滝キャンプ場
- 問い合わせ先／社会福祉法人 名張市社会福祉協議会
地域福祉係 Tel.0595-63-1111

助成金 ニュース

平成20年度みえ環境活動賞

- 受付締切／9月12日(金)(当日消印有効)
- 表彰の対象／三重県において次のような環境保全に寄与する優れた活動を3年間以上行っている個人やグループ、団体、事業所など。
- (1)環境保全に関する普及啓発活動。(2)環境負荷低減に関する活動。
- (3)緑化推進や森林保全に関する活動。(4)野生生物や自然環境の保護に関する活動。(5)地域環境の美化に関する活動。(6)ごみの減量化・再使用・再利用等に関する活動。(7)その他、知事が表彰するにふさわしいと認めた活動。
- 応募方法／応募要項、応募用紙は、下記ホームページからダウンロード。郵送希望者は、下記問い合わせ先へご連絡ください。
- 問い合わせ先／514-8570 津市広明町13 三重県環境森林部地球温暖化対策室 Tel.059-224-2316 Fax.059-224-3024
E-mail earth@pref.mie.jp ホームページ <http://www.eco.pref.mie.jp/earth/100100/katsudosho/>

(財)庭野平和財団 活動助成(後期分)

- 受付締切／8月13日(水)必着
- 助成の対象となる団体・個人／個人・団体のいずれでも申請できます。申請者の国籍、団体の場合の法人格の有無は問いませんが、持続性のあることを原則とします。
- 助成の対象となる活動／【1.宗教的精神に基づく社会・平和活動】
神仏への畏敬の念から発して、広く社会及び個人の生活における物心両面の福祉に寄与することを志向する活動を意味します。具体的には、特定の宗教の枠を越えて展開されている平和のための教育・開発協力・環境保護・人権擁護・高齢化問題への対策等の活動を指します。
- 【2.地域のエンパワメントを創生する活動】
地域のエンパワメントを創生するために、様々な団体・個人が共に深い精神性・祈りをもって開かれる、集いやワークショップに助成を行います。理論と活動の相乗効果による新しい価値観の創造を期待します。
- 助成の額／助成総額1000万円程度。1件あたり上限100万円。
- 対象事業の期間／後期は平成20年11月1日から1年間。
- 応募方法／申請書類は下記のホームページからダウンロード。ダウンロードできない場合は、財団へ電話、Fax、E-mailにて連絡。申請は郵送にて。
- 問い合わせ先／(財)庭野平和財団助成係 166-0022 東京都新宿区新宿1-16-9シャンヴィラ・カテリーナ5階 Tel.03-3226-4371
Fax.03-3226-1835 E-mail npfgrant@npf.or.jp
ホームページ <http://www.npf.or.jp/>

日本財団アジア・フェローシップ(APIフェローシップ)

- 受付締切／8月31日(日)
- 活動テーマ／アイデンティティの変容とその社会的・歴史的・文化的背景。人類が直面する社会的課題と社会正義の考察。グローバル化の構造、プロセス、オルタナティブ。
- 助成の対象／【一般応募資格】応募時にAPI参加国の国籍または合法的

- な居住権をもち且つ当該国に居住していること。
- 指定された場所・日時にて面接を受けること。
- フェローシップ活動を平成21年7月1日以降に開始し、平成22年7月31日までに完了できるように企画立案すること。
- 在外活動に必要な基本的英語力を有すること。
- 応募者は、現在及び将来にわたって当該地域に活動の拠点を置くものであること。
- 【APIシニア・フェローシップ】
平成20年8月31日に40歳以上であること(例外を認めることがあります)。
- 出身国・居住国以外のAPI参加国で、プロジェクトに従事できる能力と経験を有すること。
- 提案したプロジェクトを、出身国・居住国以外のAPI参加国で行うこと。
- 提案したプロジェクトを、1～12ヶ月の間、継続して行うこと。
- APIフェローシップのプロジェクトの成果を広く社会に還元する能力・影響力・手段を有すること。
- 【APIフェローシップ】
応募締切日に40歳未満であること(例外を認めることがあります)。
- 出身国・居住国以外のAPI参加国で、提案した研究・交流活動に取り組む能力と意欲を備えていること。
- 将来、その専門分野において大きな貢献のできる可能性を有すること。
- 提案した研究・交流活動を、4～12ヶ月の間、継続して行うこと。但し、活動国が複数ある場合は、1ヶ国に最低1ヶ月以上継続して滞在しなければならない。
- 提案した研究・交流活動は、出身国・居住国以外のAPI参加国のうち1カ国または2カ国で行うこと。
- 応募方法／募集は5カ国で行われています。申請書などはホームページからダウンロードして使用し、必要書類と合わせて郵送するか、オンラインで応募。応募方法の詳細はホームページを参照してください。
- 問い合わせ先／京都大学東南アジア研究所 APIフェローシップ事務局(担当:前野尚子、安原聡子)
606-8501 京都市左京区吉田下阿達町46 Tel.075-753-7348・7391 Fax.075-753-7350 E-mail api@cseas.kyoto-u.ac.jp
ホームページ <http://www.cseas.kyoto-u.ac.jp/api/>

(財)大和証券ボランティア活動助成

- 受付期間／8月1日(金)～9月15日(祝・月)消印有効
- 【ボランティア活動】
●助成の対象となる団体／ボランティア活動を目的とした団体・グループ。学生・若者のボランティア活動も積極的に支援します。社会福祉協議会・共同募金会などの推薦が必要。
- 助成の対象となる活動／特に在宅老人、障がい児・者、児童問題などに対するボランティア。
- 対象事業の期間／原則として平成21年1月～12月の活動
- 助成の額／1件あたり上限30万円。総額5000万円(内500万円は災害時ボランティア活動に対する助成)
- 【ボランティア活動等に関する調査研究助成】
●助成の対象となる団体／研究委員会を組織すること。
- 助成の対象となる研究／ボランティア活動・地域福祉に係る実践的モデル事業開発に関する研究など。
- 助成の額／上限100万円。3件まで
- 応募方法／用紙の申請は電話、Faxまたはホームページからダウンロード。
- 問い合わせ先／財団法人 大和証券福祉財団 事務局
104-0031 東京都中央区京橋1-2-1 大和八重洲ビル
Tel.03-5555-4640 Fax.03-5202-2014
ホームページ <http://www.daiwa-grp.jp/branding/citizen/dsf/>

助成財団センターは、助成、表彰、奨学などを行う財団法人・その他の法人などの情報を収集し、活動内容を広く社会に発信していくことを主な目的としています。その情報は冊子で刊行されているほか、ホームページやファクシミリサービスでも閲覧できます。(財)助成財団センター Tel.03-3350-1857 Fax.03-3350-1858
ホームページ <http://www.jfc.or.jp/>

みえぎんNPOローン

委託金、助成金等の受け取りまでの「つなぎ資金」として
最高500万円まで無担保でご融資!

対象:三重銀行の三重県下営業エリア内に主たる事務所を有するNPO法人

※ただし、当行所定の審査の結果、ご希望に添えないことがあります。

詳しくはTEL059-354-7130(担当 松川)まで
URL: <http://www.miebank.co.jp>

好評取扱中

“地域とともに みなさまとともに”



三重銀行

株式会社から各種法人設立、許認可申請、契約書作成

NPO法人設立手順のサポート

事業報告書等提出書、各種変更届等の作成もお手伝いします。

法務 よいよ

0120-406-414

(フリーダイヤル)

奥島要人行政書士事務所(本町総合事務所LLC)
三重県津市本町14-18 第1奥山ビル202

つながれ!..... NPO支援ネットワーク

みえ市民活動ボランティアセンター TEL059-222-5995/FAX059-222-5971

今特集

2年目の研究提案は？

平成20年度のNPO等からの協働研究提案が決定!!

6月26日、「平成20年度NPOからの協働研究提案」の公開審査会が開催されました。3つの提案が提出され、内2つが条件付選定となりました。



松名瀬海浜生態系再生計画
& コミュニティビジネス計画
(松名瀬海浜生態系再生
プロジェクトチーム)

プレゼンターとして
女性が大活躍!

日本(三重)の文化に即した中高生のための「デートDVプログラム」の開発(女性と子どものヘルプライン・MIE)

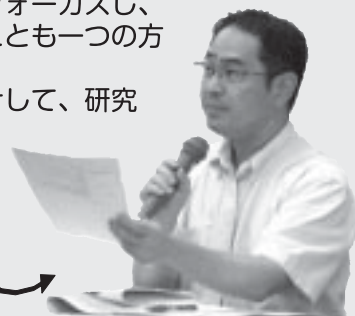


今回、条件付選定となった理由は、提案の内容が少し大きかったり、研究として行うことと共に事業実施のプランが一部盛り込まれているなど、1年間という期限付きの研究としてどこまで行うのかがわかりにくかったことがあります。

本来、研究提案はNPOと県関係室との課題の共有を目的としたものなので、事業実施を目指す場合は、協働事業として提案していただくか、研究として提案される場合には、事業の前段階での課題の整理や解決方法(事業化の方向性)の検討などの部分にフォーカスし、研究プランとしてまとめることも一つの方法かもしれません。

事業と研究をいかに仕分けして、研究部分だけに絞り込み、まとめるかが提案者の腕の見せどころとなりそうです。

審査委員長



中間 市民活動団体データベース 支援 作成のための調査結果

昨年度、三重県NPOグループと市町、市民活動(支援)センター等(以下、連携団体と略)が連携して、県内市民活動団体、ボランティア団体のデータベースの整備のために、市民活動団体の活動内容等の調査を行い、1065団体(2008年3月15日時点)から回答をいただきました。

今年度になり、三重県社会福祉協議会の協力を得て、ホームページで公開を了解してくださった市町社会福祉協議会登録団体602団体のデータをご提供いただきました。

随時、登録を受けつけ、2008年7月時点の更新で、1712団体の情報を県民の方にご提供できることとなりました。

今回の調査で、連携団体と市町社会福祉協議会(連携団体である桑名、伊賀、尾鷲を除く)で登録ないしは把握する団体データとの重複は約7%と低かったことから、連携して情報を共有することで、県民の方により多くの情報を届けていくのではないかと可能性を感じました。

ご協力ありがとうございました。

なお、団体情報はみえ市民活動ボランティアセンターのホームページ(<http://www.mienpo.net/center/>)にてご覧いただけます。



地域 いなべ市市民活動センター 情報 オープン!

本年度、いなべ市に市民活動センターがオープンしました。

市民活動センターは、市民・企業・自治会・行政が協働し、まちづくりを進めることを目的に、さまざまな分野で活躍中の市民活動団体・ボランティアグループなど、公益活動をしている方たちや、これから何か活動をしたいと考えている方たちが気軽に集えるための施設です。

センターには、団体の打ち合わせや会議に使える「会議スペース」、軽作業や少人数の打ち合わせができる「フリースペース」、印刷機(有料)や紙折り機のある「作業コーナー」、団体情報やイベントなどの情報交換のための「情報コーナー」のほか、インターネット検索用のパソコンやコピー機などが設置されています。

場所や機材の提供だけでなく、今後、各種講座や意見交換会を開催し、互いに学びあえる機会を提供したり、市民・市民活動団体・自治会・企業・行政のネットワークを築く「ネットワーク機能」や必要としている人が必要とされているところで活動できるような「コーディネーション機能」を充実し、それぞれの活動を応援していきます。

★開館：月～金(祝日、年末年始は休館)

★時間：9:00～17:00(当面の間)

問い合わせ先：三重県生活・文化部
男女共同参画・NPO室NPOグループ
〒514-0009 三重県津市羽所町700番地
TEL 059-222-5981 FAX 059-222-5971

問い合わせ先：いなべ市市民活動室
〒511-0292 いなべ市員弁町笠田新田73番地1
員弁健康センター2階(員弁庁舎隣)
TEL: 0594-74-5806 FAX: 0594-74-5806

▶▶▶▶▶ がんばれネットワーク ▶▶▶▶▶

三重県内の市民活動団体の人をリレーで紹介していきます。但し、紹介するに当たってはルールがあります。1・同じ地域で無いこと。2・同じ活動分野で無いこと。さてどんな人がどんなふうに、つながっているのでしょうか。NPO法人海の達人の大野木博久さんが紹介してくださったのは、四日市市の芳野さん。市民と行政の橋渡し役となる特定非営利活動法人「クロスポイント」で活躍されています。

行政と市民、生産者と消費者の交流拠点「クロスポイント」

……芳野さんはクロスポイントの創設メンバーですか？

僕が入会したのは1年ほど前のことです。創設は2000年頃で、理事長の宇野が立ち上げました。僕は以前から、宇野理事長と顔見知りで、入会前からまちづくりに関してのアイデアなどを出していました。その内に、「一緒にやろうよ」と誘われて、気付いたら事務局長に祭り上げられてしまいました(笑)。

……クロスポイントの活動内容を教えてください。

「行政と市民」や「生産者と消費者」というような相対する者の掛け橋、交流拠点となる目的で創設されました。スタート当初の主な活動は市民の声を行政に届けること。そのため、北勢サミットというパネルディスカッションを200年から2006年まで開催しました。北勢地域にある桑名市、四日市市、鈴鹿市の首長さんなどを招いて、防災や市町村合併など様々なテーマについて、皆さんのお話を聞き、我々市民からも意見を出すという企画でした。活発な議論の中、良い意見もたくさん出たのですが、その場の意見を現実に結びつけるのがなかなか難しいということもあって、現在はこの北勢サミットを別のカタチに発展させようと考えているところです。

……首長を招くには各市町との協力体制が必要だと思いますが、その辺りはいかがですか？

北勢サミットを通じて、北勢の市町とは良い関係が作れてきているのではと感じています。四日市の施設で「なやプラザ」というのがありますが、ここは指定管理者制度が導入されていて、4つのNPOで構成されている「なやプラザ運営協議会」が管理しています。クロスポイントも構成団体ですから、四日市市との協力というか、実績づくりになってい

ると思います。

……この他に市民の声を行政に届ける企画はありますか？

行政窓口の満足度に関してアンケート調査を行っています。最初にアンケートボックスを置いてもらったのは四日市市役所。その後、三重県庁にも置いてもらいました。7月10日に、このアンケートを元にして四日市市職員とクロスポイント、市民の方々が協働でワークショップを行い、行政窓口のあり方について意見交換を行います。

……従来なら市民の声を聞くのは行政の市民担当課の業務でしたが？

市民サイドで声を集めることで、行政主導で行う時とは違う、市民の生の声が引き出せるのではないかと思います。もちろん、行政と対立するつもりは全くありませんから、同時進行で行えればよいと考えています。クロスポイント独自の活動としては、CTV(四日市市のケーブルテレビ)の番組を作成しています。月に2回、2本のニュースで構成された15分番組です。市民活動やNPO団体の活動、地域のお祭りなどを紹介するほか、最近では万古焼きや和牛生産者など、地場産品や生産者の方を取り上げています。

……ケーブルテレビの番組を買い取っているのですか？

逆にケーブルテレビから番組作成を受託して、年間制作費をいただいています。クロスポイントでは市民映像講座など、映像に関連した事業も行っていたのですが、その映像部門だけをメディアネット四日市として独立させました。この番組づくりは企画、取材などはクロスポイントが行い、撮影・編集は四日市メディアネットが行っています。作成した番組はケーブルテレビだけでなく、メディアネット四日市のホームページでも見てもらうことができます。新たに考えているのは映像を元にした町おこし。ゆくゆくは地元FM局やタウン誌などをミックスさせて、複合的なメディアの発信を行いたいと考えています。

……クロスポイントの活動費は番組作成費が主ですか？

現在20名ほどメンバーがいますが、年間1万円の会費を集めています。このほか、四日市市のまちづくり団体への助成金なども受けています。設立当初から、自力で運営したいと思っていましたので、北勢サミットの時はポスターに企業広告を入れるなどして、企業からも寄付金などを集めています。

生産者をマッチングし、新たなブランドづくり

……今後、活動をどのように広げていく予定ですか？

今後はまちづくりというか、四日市市、ゆくゆくは三重県全体の活性化に取り組んでいこうと思っています。まず最初に、四日市市の地場産業の振興を図ろうということで、自分たちで新たなブランドを起こすことになりました。この事業は四日市市農水商工部と連携して行っています。その第一



役場に置いたアンケートボックス。

特定非営利活動法人クロスポイント



事務局長

芳野正英

さんに

聞く

作目が万古焼きの湯呑み、急須などと伊勢かぶせ茶のセットです。

……そのアイデアはどこから？

クロスポイントの会員は中小企業の経営者や地域で様々な活動をしている人ばかりですので、皆さん、四日市を盛り上げていこうという気持ちは以前から持っていました。地域活性化策について話し合っている時に、理事長から「四日市産の伊勢茶を万古焼きの器で飲みたい。一緒に売ってはどうか」という話が出て、それぞれの生産者にお声を掛けさせてもらい、商品化しました。

市民活動団体と行政の繋がり、本来あるべきカタチを作っていきたい

……まるで経営コンサルタントや行政の商工課のような働きかけですが、それをNPOとしてやる意義は？

行政に頼るのではなく、我々自身ができるところまで、やってみたかったのです。ケーブルテレビの番組やホームページなど、ある程度の発信力も持っていますし、どこまでできるかはわかりませんが、取材で知り合った生産者の方たちと繋がって、ゆくゆくは一緒に商品開発ができればと夢見えています。

……他にアイデアは？

先日、伊勢市と伊勢商工会議所が地産地消のお店を認定しました。それを知って、先を越されたなあと。実は我々も同じ様なことを企画していたのです。せっかく、生産者の方と繋がりができたのですから、地元の産品を使いたいという意欲ある飲食店などとマッチングして、アピールしたいと、四日市市農水商工課と企画を進めています。そんな風に地元のお店が頑張ったり、大手のチェーンではないお店が増えていくことは活性化に繋がっています。地場産品を使ったメニューなどを企画したり、地産地消の仕組みが上手く作れて、盛り上がれば一つの成功かな。それにこういう活動なら、行政も協働しやすいですね。

……現在は四日市市での活動がメインですが、今後、他市町に広げていくのですか？

メンバーの中には鈴鹿、桑名、津在住の方も数名いますので、四日市市で上手くいけば、同じようにそれぞれの地元で活動しようという動きもあります。その時はクロスポイントとして活動してもいいし、地元の団体と連携してもいいで



北勢サミットの様子とポスター。



しょうね。四日市市での活動も行政だけでなく、他のNPOとも協働していきたいと思っています。

……連携したNPOに、ノウハウを伝えることは？

ノウハウを抱え込むつもりはありません。四日市市のようなNPOが集まって、問題点などを話し合う四日市NPOセクター会議という集まりを2年前から行っているのですが、NPO実践講座という連続講座を本年度から行う予定です。まだ企画段階ですが、行政・他団体との関係づくりという意義を我々が担当します。

……四日市市と良い関係を築かれていますね。

ケーブルテレビの取材先にしても「この分野で頑張っている人、いませんか？」と聞いて、紹介してもらうこともあります。取材先も市が窓口になってくれると、信頼して対応していただきやすいですね。それに県庁にアンケートボックスを持っていった時、当初は受け入れてもらえなかったのですが、四日市市の場合はすんなり許可をもらえました。信頼関係ができつつあるのだと感じました。ただ、我々の事業に関して、行政に「一緒にやりましょう」と働きかけても、「一法人だけとは、なかなか一緒ににはできない」と対応されることはありますね。四日市市は人口も多いし、市民活動も盛んになってきている手応えがあります。でも、市民活動団体の意識や活動に対して、市側の対応は少し遅れているような気もします。昔に比べればNPOの存在価値もあがりました。協働を進めていくのであれば、市も次のステップに上がっていただきたいです。協働という言葉が、市民を使うための道具になっているような部分も、実際活動していると感じますから、そこは変えていきたい。市民活動団体と行政の繋がり、本来あるべきカタチを作っていきたいというのは、僕個人の想いでもあります。

特定非営利活動法人クロスポイント

510-0062 四日市市北浜田町12-21-104

Tel.&Fax.059-354-2221

E-mail cross-p@uno-1.co.jp

ホームページ

<http://www.npo-crosspoint.jp/> (クロスポイント)

<http://www.medianet-yokkaichi.com/> (メディアネット四日市)

芳野正英さんはこの人を紹介します。

伊藤嗣也さん

別山安全なまちづくり推進委員会委員長として、安心して暮らせるまちづくりを行っています。



事務所の様子。パソコンで録画した映像を編集できます。



伊勢茶と万古焼きをマッチング。こぶりの茶器が可愛らしいセットです。

協賛

この市民活動・ボランティアニュース発行にあたり、協賛をいただいております。

キラリと光るあなたの銀行

第三銀行

三重銀行

百五銀行
FRONTIER BANKING

健全・安心・貢献
東海ろうきん

JAバンク
三重県下JA/JA三重信連

おねがい

市民活動・ボランティアニュースに情報を提供される際、以下のことにご注意ください。

(1) 原稿はニュースにそのまま掲載できる状態にして、毎月10日までに送ってください。

(2) 送付はE-mailもしくはFaxで。その際、「市民活動・ボランティアニュースへの掲載のお願い」と件名を明記してください。Fax.059-222-5971 E-mail seiknp@pref.mie.jp 転載を希望される場合は必ず男女共同参画・NPO室に連絡してください。

270 PRINTED WITH SOY INK

古紙70%の紙と環境にやさしい植物性大豆インキを使用しています。